

戦後70年

桶川市協働推進提案事業

平和を守り・語り継ぐ

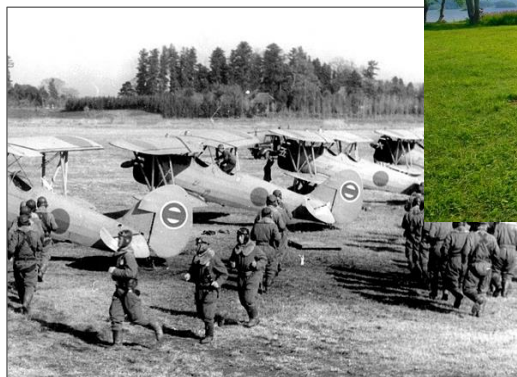


Photo by Wikipedia

〜〜〜 プログラム 〜〜〜

6月

20日(土) 第1部

11:00~12:00

開会「桶川市 平和都市宣言」朗読

旧陸軍桶川飛行学校からのメッセージ

第2部

13:00~15:00

昭和の時代を生きた人々の証言(桶川市民)

21日(日) 第1部

10:00~12:00

朗読 「東京大空襲」(アニメ)

「かわいそうなぞう」(絵本)

「この子を残して」

「僕は満員電車で原爆を浴びた」(庄野暎子)

第2部

13:00~15:30 (開場 12:30)

映画 「アオギリにたくして」

会場 さいたま文学館 文学ホール (桶川市若宮1-5-9)

費用 無料

主催 ボランティアグループ 紅花の会
NPO法人 旧陸軍桶川飛行学校を語り継ぐ会
桶川市

問合せ 桶川市自治文化課 048-786-3211

アオギリにたくして

時を超えて伝えたい愛がある

結婚式まであと三日、私の人生は一変した —

広島で被爆したアオギリの苗を全国各地で植樹し始めた田中節子。世界的に広がりつつあるこの活動に興味を惹かれたライターの片桐千草は、取材中に知り合った節子の妹から彼女の生前の日記を預かる。そこには原爆により足を失った女性の苦しみと克明に綴られていた…。

絶望の淵に何度も立たされながら、やがて彼女は平和の語り部として生きていく決意をする。彼女がアオギリにたくした思いとは…。

壮絶な人生を歩んだ女性の、過酷にして清澄な愛の軌跡。



平和の種を人々の心に蒔き続けた実話に基づく感涙の物語



「アオギリにたくして」は、広島平和記念公園にある被爆アオギリの木の下で、たくさんの人々に被爆体験を語り継いできた沼田鈴子さんをモデルにした映画です。

東日本大震災が起きて4ヶ月後の2011年7月12日、被災地の人々や福島原発の事を案じながら沼田鈴子さんは永眠されました。「生きて、伝えなければ…」亡くなる一ヶ月前、沼田さんがおっしゃられた言葉が今も忘れられません。原爆と原発の違いはあっても、放射能の恐ろしさは同じです。私たちは今一度、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の声にしっかりと耳を傾け、日本と世界、そして地球の未来を考えていく時を迎えています。「世界中の誰にも二度と同じ苦しみをさせたくない」と願う被爆者の方々の願いを、日本、そして世界の人々と共に叶えていく映画となることを願っています。この映画を観てくださった方々の心に、被爆アオギリにたくされた思いを届け、平和の種が蒔かれていくことを祈っています。

No more Hiroshima! No more Nagasaki! No more Fukushima!

映画「アオギリにたくして」

企画・制作・統括プロデューサー 中村里美



【企画・製作・統括プロデューサー】中村里美 【プロデューサー・音楽監督】伊藤茂利 【原作・脚本・監督】中村柊斗 【撮影監督・編集】倉本和人 【撮影】佐久間栄一
【照明技師】淡路俊之 【録音技師】山口 勉 【B班撮影】曾根 剛 【助監督】中根 克 【美術】中根加代佑／与謝蕭風 【ヘアメイク】村松直美
【スチール】AKIRA／竹本宗文／佐倉和樹 【フライヤーデザイン】AZ／金子洋典 【衣装】東京衣装／ビッグウッド株式会社 【題字・イラスト】吉田しん子
■ 2013年／ヴィスタサイズ ステレオ ©2013 株式会社ミュージアの里

※映画「アオギリにたくして」の収益金は、世界各国での上映会・文化交流と共に、平和への思いを被爆アオギリ2世・3世の種や苗にたくして植樹するAOGIRIプロジェクト「Seeds of Peace」の活動に使われます!